

立川でひとくち

3

立川と語ろう 立川に生きよう

March 2012

Écoutez Bien Vol.30 No.328

漁ノ上米店のみなさん(富士見町)



サラダ？漬け物？

ピリッとキャベツ



〈ピリッとキャベツ〉

材料 (4人分)

キャベツ1個、赤唐辛子2本、レモン汁半個分、塩少々
オリーブオイル大さじ2

作り方

- ① キャベツは芯を抜いて、巻きやすいように
しんなりする程度に熱湯で茹でる(クタクタにしない)。
- ② 端からクルクル巻いて形を整える。
- ③ 赤唐辛子は種を抜いて小口切りにしておく。
- ④ ポールにオリーブオイル、レモン汁、塩、赤唐辛子を
入れてよく混ぜ、ドレッシングを作る。
- ⑤ キャベツを皿に並べて④をまんべんなくかける。

※酸味が苦手な方は、少ししょうゆを入れるとまろやかになります。ご飯にもパンにも合います。

〈レタスのエメラルドスープ〉

材料 (4人分)

固形コンソメスープの素1個、レタス1個
水600cc、ベーコン1枚

作り方

- ① 水300ccを沸騰させ
コンソメの素を溶かす。
- ② コンソメが溶けたら、さらに
水300ccを足してベーコン
を入れ塩で味を整える。
この時、ベーコンは刻んでも
いいし、そのままでもよい。
- ③ レタスは芯を抜いて、食べや
すい大きさにちぎっておく。
- ④ スープを沸騰させない程度に
熱くしておいて、食べる直前
にレタスを入れて火を止める。

※レタスは火を通しそぎると変色
してしまい、食感も変わってしま
います。



仏様と神様を信じて

支えは硬い信仰心

アンデスの国ペルーからやってきた

Neri Cari さん

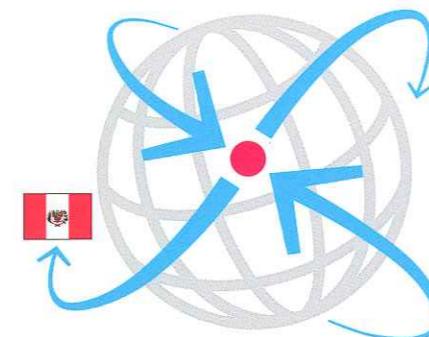
カトリックの国に生まれ、来日。そこで出会った仏教に帰依。

他を助け尊ぶということはどんな信仰も変わらない。

日本に来たことも、そこでの苦労もきっと意味あること。

前向きに生きることで自らの使命に気づいていける。

透き通った優しい声のネリさん。苦労の跡が見えないのがすごい!



——ネリさんの母国ペルーはどんな所ですか?

ネリ 空に届きそうな高い山アンデス山脈があり、世界遺産のマチュピチュのあるところです。風が強い。メロディを奏でるような風が山に吹きます。自然の美しい素晴らしいところです。

——南アメリカにあるペルー共和国の首都はリマですね。お国の言葉は?

ネリ スペイン語です。

——コンドルが飛んでいるのもペルーですよね?

ネリ そうです、そうです。

——ペルーと言えば、私は民族衣装とか音楽を思います。とても特徴的ですね。

ネリ そうです。フォルクロール。ペルーとボリビアがすごく似ています。音楽は、日本でとても人気がありますね。立川の駅でも時々演奏しています。ほとんどペルーの方で、私、声をかけたりします。

——私も見かけます。日本に来られて18年だそうですが、何か習慣が違ってびっくりしたことってあります?

ネリ 温泉。都会にもありますね、なんて言いましたか……。

——お風呂屋さん?

ネリ そう、お風呂屋さん! ペルーにはな

い。ない、なーい。おかしいと思った。なんでそんなこと?……って。「みんな平等、みんな同じ」って言われた。おかしいと思ったけれど、文化だから……(笑)。

——みんなで裸になって入るっていうこと(笑)? それで、今は入れるようになったんですか?

ネリ 今は大丈夫。みんなと一緒に。自分の健康のために、疲れがとれるから(笑)。

——それが一番びっくりしたことですね? 他にもありましたか?

ネリ ああ、それは食べ物。魚を生で食べたり。あと納豆とわさび。

——ペルーでは魚をお刺身で食べない?

ネリ ほとんど生では食べない。ペルーはアメリカの料理に似ています。

——ところで、来日されたきっかけというは何だったんですか?

ネリ 家族の仕事の関係できました。

——ご家族は?

ネリ 仕事が終わったのでペルーに戻りました。

——ネリさんは一緒に帰らなかったのですか?

ネリ 帰りたくなかった。日本語を覚え始めたところだったし……。

——そう! ネリさん、日本語がとてもお上手

ですよね。来日してから覚えたんですか?

ネリ そうです。最初はできなかった。全然わからなかったのがずっと続いて、少しわかり始めたところでした。言葉だけでなく、日本の文化をもっと知りたい。ちょうど仏教に出会って、すごく興味があった。勉強したいと思いました。だから大変だったけれど、日本にひとりで残りました。

——その頃は埼玉にお住まい、お仕事も埼玉だったんですよね? ご苦労なさったとか。

ネリ はい、そう。言葉わからない、家族いない、お金もない……つらいこといっぱいありました。言葉わからないと、日本人はイライラしてくる。通じていないので、失敗もいっぱいある。仕事の面でも、人間関係が大変でした。埼玉の職場では、女性が強くて。疲れているのに「私がやります」「そ



フィアンセのLance Murrayさんと

れも私がやります」って、日本人はすごい。すごく頑張る。びっくりした。ペルーの人も一生懸命働きますが、日本はもっとすごい。真似しなければと思ったけれど、できないときもありました。だから「負けない」「一生懸命頑張ります」は、私が日本で暮らすのに大切なことです。

——すごい~。今、ネリさんは立川にお住まい、食品関係のお仕事をなさっているそうですね?

ネリ でも、私はおかげで強くなりました。いろいろな経験をして、いろいろな人に出会うことができた。

——仕事場ですごい喧嘩になったりいじめみたいなことがあったりしたんですね。大丈夫だったんですか?

ネリ そう、ありました。でも大丈夫。世界中にある戦争に比べたら、全然大した事ない。そう思った。仕事場は世界各国から来ている人たちが集まっている所でしたが、最初は私も自分のことしか考えられなかった。つらい、大変……。でも、私には信じるものがある。信じるものない他の人の気持ちになれた時、私はつらいけれど幸せなんだと思いました。不安なこといっぱいあるけど、信じる心が強ければ、よりよい明日が来ると思っています。

——ネリさんの国はカトリックですよね?

ネリ そうです。ペルーはカトリックの国ですから、神様を信じる、他を助けるはみんなします。言葉をかける、物を分ける、小さい事でも大きい事でも関係なくやってきました。

——そして日本で仏教に出会った。

ネリ はい。宗教はその国の文化のひとつですから、とても興味があった。だから仏教もやってみたかった。

——ネリさんの中で、仏教の仏様とカトリックの神様はどうなっているんですか?

ネリ 2つともあります。仏様と神様。両方信じています。両方一緒にあります。

——それはすばらしいですね!

ネリ はい。ふたつ、自然にあります。

——仏教もやってみて、どうなったんですか?

ネリ もっと幸せになりました(笑)。ホン

トに! 辛いことあっても、きっと乗り越えられると思えるから、私は幸せです。

——すごい~。今、ネリさんは立川にお住まい、お仕事をなさっているそうですね?

ネリ はい。外国人のグループと一緒に働いています。今はブラジルの人が多いですね。

——いろいろな苦難を越えて、日本に慣れた今、何をしたいと思っていますか?

ネリ 今まで私はたくさんの方にサポートしてもらいました。今度は私がそうしたいと思います。

——立川在住外国人の立場から何かおしゃりたいことがありますか?

ネリ そうですね、外国人はルールを守らない人もいますが、それは言葉の上の問題が多いと思います。通じていないからルールがわからない。もちろん自分で勉強して言葉を理解していくなければならないのですが、それぞれ事情があって、たとえば子どもがいるとか仕事があって時間がないとか、なかなか言葉の勉強をすることができない。そこを理解してもらいたいです。

——立川でも外国人のために無料相談など支援をしているところがあるのをご存知ですか?

ネリ はい。私も以前通訳ボランティアとして参加していました。私がサポートしたのは、全然日本語のわからないブラジルやペルーの方たちでした。私はスペイン語で話しますが、ブラジルの方はポルトガル語。

——お幸せそうですね~。今日は本当にありがとうございました。

ネリ 私に日本の感想を話す機会を与えて下さって本当にありがとうございました。



すね。

ネリ そうですね(笑)。最近よく立川の外国人事情がわかってきた。中国人の人や韓国人の人が多いですね。

——ネリさんは中国の方には日本語が教えられない?

ネリ もしその方が英語ができれば、たぶん大丈夫。

——すごい! スペイン語、英語、ポルトガル語、日本語。4カ国語を使って、それぞれの文化も理解して、ネリさん、世界中の架け橋になりますね!

ネリ そうですね(笑)。それが私のミッションかもしれない。まだわからないけど。

——最後にネリさん、もうすぐ結婚なさるそうですね? おめでとうございます!

ネリ ありがとうございます(笑)。前、ひとりでした。でも今は違います。サンフランシスコとメールやスカイプで話して、時々会いに来てくれて、今は本当に幸せです。

——立ち入った事をうかがいますが、ネリさん、婚約者の方とはどうやって知り合ったのですか?

ネリ 佛教のお寺で知りました。とてもおもしろい人で、一緒にいると楽しい。

——お幸せそうですね~。今日は本当にありがとうございました。

ネリ 私に日本の感想を話す機会を与えて下さって本当にありがとうございました。

左から 北川源四郎 情報・システム研究機構長
樋口知之 統計数理研究所長
中野純司 統計思考院院長



「統計思考院」院長、副院長に聞く

—思考院 院長 中野純司さん、副院長 川崎能典さん

わかりにくいくらい、すごかった！

緑町にある大学共同利用機関のひとつ、

統計数理研究所に2011年11月「統計思考院」なるものが設立された。

統数研自体がよくわからない一般人、思考院と言われてもまったくもってわからない。

初步的な質問ばかりかもしれないが、ざっくばらんに聞いてみた。

—思考院の設立についてうかがう前に、「大学に統計学を専門に学ぶ学部がない」というのは本当ですか？

川崎 本當です。ここを除けば名前に統計学と冠した学部学科としてはないですね。

中野 基本的には大学に統計学部というはない。統計学を専門に教育する機関もほとんどない。

—それはなぜですか？

中野 統計学にはデータが必要で、データの出自はいろいろです。社会学であったり、経済学から起つたり、生物学であったり遺伝学であったり。それが統計学としてまとまつたのは1900年代初頭くらいです。日本でも工学系、医学系、経済系の先生が必要を感じられて、自分の所属するところで弟子を育てる形になりました。ですからいろいろな学部でバラバラにやられているのが現状です。残念ながらそれらの先生がまとめて学部学科を作るという動きが、ごく最近までなかったんです。

—ちなみに先生方のご専門は？

中野 僕は東大の工学部出身で、

川崎 私は東大の経済学部出身です。

—ではここにいらっしゃる先生方はみなさんバラバラなんですか？

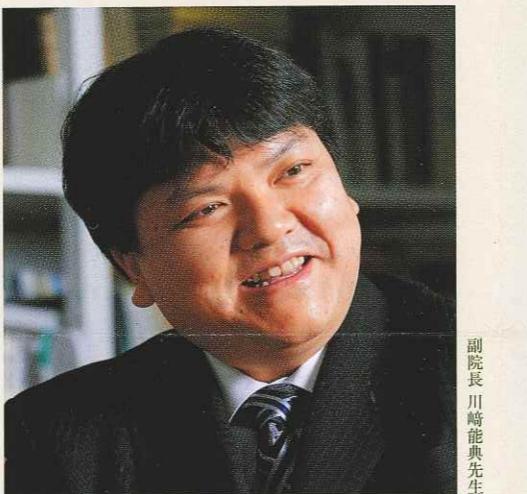
中野/川崎 バラバラです。

中野 ここは出身がおもしろいですよ。僕は出身が工学部で博士号は理学博士をもっています。ここへ来る前は経済学部で働いていました（笑）。

—それは、オールマイティって考えればいいんですか？

中野 っていうか、どこででも必要とされてるのは確かだと思います。ただ主流にはなれなかつた（笑）。

—主流になれないとは？



副院長
川崎能典先生

を教えて頂けますか？

中野 ひとつには社会への還元です。もうひとつには統数研のやっていることを広く知ってもらうため。一方我々には統計の知識を広げないと日本は危ないのではないかという危機感がありまして、できる範囲で人材育成をやろうと。ですから3つめの目的は人材育成のため。その3つをメインにした思考院を立ち上げたわけです。

—所長のお話からも人材育成に力をいれていかれるんだなというのはわかりました。

川崎 それと、日本は近代国家への道を歩む段階で大学制度をドイツから学んだのですが、当時のドイツでは統計学を社会科学の1分野として位置づけていた。そんなカラーを日本も明治時代に引き継いだ。もちろんそれはとても重要で、国の経済を考える時に、国民の数とか年齢構成などの人口統計をとることが課税の基本になります。そういった社会統計的側面は大事なんですが、日本でも社会科学の1分野としておかれた。最初から理科系の、数学の応用と言ふ形で位置づけられていたら流れはだいぶ違ったんじゃないかなと思います。

川崎 統計数理研究所は大学共同利用機関ですので、言ってみれば大学の先生方にサービスを行う機関です。個々の先生方が研究において

困っておられること、特に統計的なデータ処理やモデルの作成で困っていることがあれば我々がお手伝いしますよと。博士課程を終えたばかりの若い人たちに思考院に研究員として在籍してもらう中で、クライアントと一緒に問題を議論していけばコミュニケーション能力がおそらく上がって行くだろうと期待しているわけです。

—思考院のお客さんというか生徒？は大学の先生なんですね？

中野 いや、メインは大学の先生ということで、思考院はもっと幅広いです。企業の方、一般の行政の方も。例えばある市でこういうデータを集めたんだけれど、これでこう言つていいんですかというような質問もあります。そういう場合には統計的にはシンプルな問題なので若い人にやっていただき、人材育成の場としてていきたいと考えています。

川崎 昔は各研究室で先生がやっている研究をみんな真似て人材育成ができていたんです。最近は統計学や数理科学を取り巻く環境が変わつて来ている。データをとつて保管しておくコストが非常に安くなってきたんです。業務データの一部として膨大なデータが蓄積されている。手法は仮にシンプルでもその巨大データに直接統計的処理をすると、驚くほどの知識発見ができる。そんな側面が今重要視されてきています。大きいデータの場合、統計解析と一口に言つてもいろいろな技術を持った人間が必要で、複数の人間がうまく協調してようやく大規模データの解析ができます。そういったデータ解析の教育をしてくれるところはうちの研究所をおいて他にはないと思うんですよね。

—他ではないというのはすごいですね。でも何か地味でわかりにくいところですよね（笑）。

中野 形にして見せるものがなかなかありませんからね～。ある意味統計学というのは曖昧な所がずっと残るので、最終的な決断は本人の価値観によるんです。統計学ができるのは不確定性をある程度数量化するということ。統計学で絶対的なことは言えない。確率的な言明しかできず、本人が一生懸命考えることを要求してきます。こっちに権威があるわけではなくて、材料を提供できる。材料を提供されたらそれを本人が判断しないといけないんです。日本人って自分が判断するのが結構苦手で権威に従う所がありますよね。起こるのか起こらないのかはっきりせいと言われますが、それはあ

り得ないです。

—でも未来予測はある程度できるわけですよね？

中野 できますよ、ある程度。そのある程度というところをきっちり数値化して見せた時に、はっきりしたことを言うのは簡単なんですよ。「未来はどうなるかわからない」これが一番はつきりしています。

—言えることは「傾向」なんですね？

中野/川崎 そうです、そうです。

中野 それが確率的で、数字を伴つていています。昔はデータをとるのが大変でしたから、データを持っている人が偉かったです。政府が経済データを持っていて政府以外はアクセスできなかつたし、どんなデータも持つていてこれが大切で、それを外に出さなかつたんです。だから論文書いても嘘が見抜けなかつた。今はデータが溢れていて、データをパブリッシュするのが楽です。そんな状況ですからデータを処理するという意味での統計学が今はすごく要求されています。データも大量データになつていて、統計学自身もちょっとずつ変わつています。

川崎 今はデータもたくさんあって、たくさんあれば法則があるとするなら見えやすい。使いやすい公式に落とし込むために、合つてるかどうかわからない数学的仮定を置かなくともいいわけです。ダイレクトに計算機を使って推論すれば傾向は見えてくる。1950～60年代頃と今とでは統計学そのものが随分違つて来ています。

—学習指導要領に統計が入つたと聞きましたが、私が小学生の頃、このグラフから読み取れる事を述べなさいっていうありましたよ。

中野 ありましたよ。

川崎 ありましたよ。そこから急激に無くなつていきました。ゆとり教育の中でそういうところから切られていきました。

中野 統計って、試験が作りにくいんですよ。まるバツがつけにくい。

—何を答てもあってるみたいな問題になっちゃうんですね。以前、食品関係のデータを毎年更新していたデータ本があつたんですが、私はその本でアンケートの結果にコメントを書いていたことがあります。結果から読み取る消費者の傾向です。

川崎 きついですね～。

中野 データを見て情報をちゃんと判断するのですからまさにそれが統計学です。その時にも



思考院院長
中野純司先生

う少し数字をちゃんと入れると完全な統計学です。

—小学校で基本を習つただけで、統計学をちゃんとやつしたことなくとも仕事になつてましたんですけど。

川崎 いや、だから統計的思考という人は人の推論の形としてはきわめて自然なものだつていうことなんですよ。

—子どもたちがやるにはおもしろいですよ！ 最近の中高一貫校の入試では重要視されていますみたいだし。

中野 おもしろいですよ。でも先生がきつい。教材を用意するのがとても大変だと思います。

—同じ大学共同利用機関の極地研がやつてゐる南極教室のようなものはなさらないですか？ 直接統数研が子どもと触れ合うような。

中野 う～ん。今までやっていないですね。

—先日の式典では立川市の教育長もやりましょうみたいなお話をなさつていましたよね？

川崎 そうですね。

中野 検討課題ですね。私たちの立ち位置としては大学共同利用機関ですから、初等教育ばかりに力をかけるということはできないんですけども、考えるべき課題ではありますよね。統計科学の推進に貢献するというは1つの目的ですから。でもメインはやはり高等機関ですね。

—それは当然ですよね（笑）。都立高校でもトップレベルの高校、たとえば八王子東高校とか立川高校、国立高校といったところなどの生徒さんは興味があるんじゃないでしょうか？

川崎 まあ、今の高校生がどのくらいおおらかに勉強しているかということにもあります。そのくらいの年齢だと、受験を意識しますよね。「それ何の役にたつ？」っていう意見が出てくんじやないかな。もっとおおらかにみてもらわないと（笑）、こちらが何か提供しても楽しめないと思いますよ。

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 錦町・柴崎町のお店です。

錦町 Natural Food Restaurant シエナ 529-5921
エステラント ロズまり 529-3037
リストランテ ラ・ボボリータ 528-5410
Garden & Crafts Café with 多根 0120-412-877
社会福祉法人 至誠学舎 総合老人福祉施設 至誠ホーム 527-0031
にしき福祉相談センター 至誠介護相談センター 527-0321

● 柴崎町 謙訪神社 522-2968
毎日新聞社グループ(株)毎日広告社 522-6121
バスターミナル はしや 521-3386
高島ビル 526-0111
MOON ZETTON 523-0961
南武堂剣道具店 527-0197
味乃寿司由 522-3733
おしゃべりカフェトーク・スペース 527-1636
株式会社 一心堂 527-3777
すがの歯科 540-2675
中華ハルピン 527-1809
紙匠 雅 548-1388
ピストロすぎ浦 525-9929
カレー工場 Haji ハイジ 548-0812
ステーキ&欧風料理 クワトロ 528-3350
串揚割烹トントン 524-4521
Pasta Frolla 立川南口店 540-8033
レンタルスペース&雑貨カフェ 夢工房 843-7818
パセリドゥーワ 525-8486
甘味処 石や 524-0862
不動産コマツホーム 525-5811
芹沢ガラス店 522-3065
かみゆい処わ 522-8202
ファッショングハウス ホマレヤ 525-2788
中国四川料理 山城 512-8356
ジョイフルプラザ スクエア 521-1228
酒歩たから 528-1510
服地・洋裁材料 藤レディース 528-5101
純中國料理 北京大飯店 522-6393
天婦羅・うなぎ 良銀 522-6702
レンタルボックス きらら 522-3913
生活雑貨 EAST END 523-9636
特むし銘茶・海苔 菊川園 526-2035
ジョイフルプラザ 0120-29-2775
めん心 堤屋 525-6602
hocco* café 595-8379
日本空手道 佐藤塾 548-7460
ヴァールフックス 527-0055
(株)立川紙業 527-6111
Fashion You Me 523-1640
手焼せんべい 雷神堂 521-5705
石原薬局 523-4067
B級食堂 相模屋 525-9478
お菓子工房 ティーコージー 525-6366
サイクルハウス 輪輪館 522-8100
ビジネス HOTEL クボタ 522-1122
いなげや 立川南口店 526-2947
(株)正盛堂 522-2328
いなりし・のり巻きすし 松月 523-4758
小林歯科クリニック 527-8217
ビューティーサロン ウィスティア 527-1116
オリオン書房 サザン店 525-3111
ハンバーグとステーキのお店 WISH BONE 527-7199
三船クリニック 523-6693

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカイパーエク TV : 216ch
マイ・テレビ アナログ : 11ch
デジタル : 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

立川のすごいとこ ⑧

「アカデミックたちかわ」



文句なしに「すごいところ」だ。日本、いや世界の頭脳が集まるパワースポット!

初めて「すごい!」と思ったのは、月の裏側から飛んで来た隕石があると聞いた時。その時から〈アカデミックたちかわ〉探検が始まった。立川の新境地、アカデミックな部分がここにある。極地研究所→南極地域観測隊→南極・北極科学館……。入場規制もない場所に、ゴローベンと5億年前の石を置いているなんて、世界広しと言えども他にはそうありやしない。

膨大な資料がきれいに整理されているのは、国文学研究資料館。日本の古典の本物が湿度や温度の管理はもちろん、全館虫除け対策の蛇腹網戸設置で保管されている。もの言わない大量な資料の中に佇むと、目には見えない声や息づかいが聞えてくるのは私だけ?

さあ、もうひとつは未知の世界! ようやく入口が見て来たような気がするけれど、なんせ間口が広すぎて、入口だけでも迷ってしまうのが統計数理研究所。いやいや、建物のことではなくて、専門分野のお話。うわさのスパコンも見せてもらつた。大きな音をたてて、なにやら一生懸命計算していた。

でも……。研究はある意味自己主張の必要な仕事。それぞれ違った分野の専門家が、ひとつの建物の中で、仲良く一緒に働いているっていうのはすごすぎて、尊敬に値する!

街の話題

「昭和天皇のご愛草 — 春の花々 —」

昭和天皇記念館で春の新企画展示開催

〈ふるさと通り商店街〉が立川に

昭和天皇の植物に関する野外調査の主要な場所でもある皇居には、数多くの草木が繁茂しており、殊に、吹上御苑には江戸時代から残る巨木もあり、都心にあって武蔵野の面影を残す貴重な場所。昭和天皇は、平成元年刊行の『皇居の植物』の序文に「自然の保護はますます困難になるであろうが、自然に親しむことが大切である」と記されている。その自然への慈しみのお気持ちをあらわす昭和天皇のお言葉として「雑草という草はない」が有名だ。

今回は、皇居にみられる昭和天皇のご愛草の中から、春に咲く花16種類を選んでご紹介。

展示期間 平成24年2月21日(火)~6月24日(日)

入場無料



「食・健康・ふるさと自慢 in 昭和記念公園」開催

立川市を中心とする近隣地域と連携し、街を活性化する一大イベント。

出展数が100もある〈ふるさと通り商店街〉に、誇り合わせてレッツゴー!

地域連携・活性化イベント

「食・健康・ふるさと自慢 in 昭和記念公園」

日時 2012年3月10日 10:00~16:00(開会式あり)

会場 国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン

主催 「食・健康・ふるさと自慢」実行委員会(エフエムたかわ、財団法人公園緑地管理財団、ミドリコネクト、サンケイリビング新聞社多摩本部、えくてびあん、オリオン書房)

共催 国土交通省 国営昭和記念公園

表紙の人

峯岸孝年さん、良治さん
花凪さん、佑羽さん

お米屋さんの初代は孝年さんのお父さん。武藏村山から立川に移って来ての創業です。良治さんは3代目。白軒車が趣味だそうで「ピンで乗っています」って、かっこいい! 4代目は美人姉妹。継いでくれるのかな?



かたこと

◆表紙は親子三代の笑顔をテーマに頑張っています。「今月は誰かな?」とお手に取って頂たら幸せです。峯岸さん、寒い日の早朝からご協力下さり、本当にありがとうございました。◆先月号の表紙も好評でした。肖像画の至誠学舎初代ご夫妻がまるで本当にいるみたいと。至誠ホーム長橋本正明さんの妹さん、橋本順子さんはご結婚されていて、今は春山順子さん。至誠和光ホームの園長さんです。◆毎回原稿を書いてから、関係各所にチェックしてもらいます。ドキドキの瞬間です。えい! って送信ボタンを押して、あとはどうにでもなれ~なんて思うのですが、今度はチェックした原稿が戻ってきた時がドキドキです。今月は初めての統数研にドキドキしっぱなし。でも、さすが。一流の方は対応も一流でした。◆ネリさんの言葉は一言一言に重みがあります。経験の厚みが違うというのでしょうか。苦労が微塵も見えない笑顔が、本当にステキでした。◆お店のコーナー新規開店です。興味のあるところへどんどん「おじゃましま~す」。

えくてびあん

3月号 第30巻 通巻328号

平成24年3月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082
FAX 042-528-0065
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。

Ecoutez Bien March 2012 No.328

おじゃましま~す! [1]

bottega alforno

イタリアンのお店です

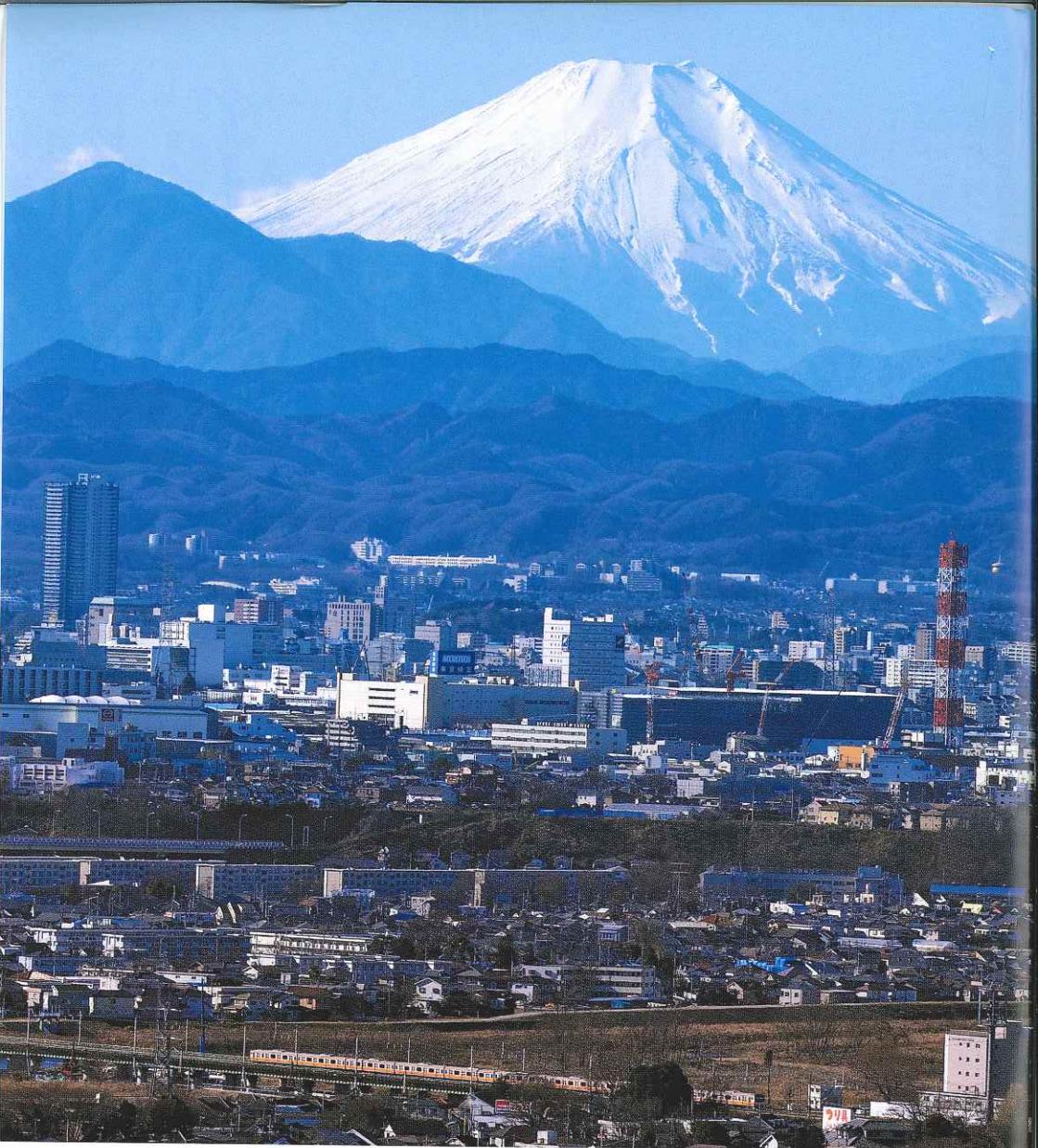


ディナータイムに薪窯ピッツァが食べられるお店です。定番マルゲリータはまさにイタリアン色!トロットロの半熟卵が魅力的なビスマルク、ピッツァ好きならこれでしようというマリナーラ。もちろんパスタもありますよ。魚介類が大好きなシェフだからこそ「しらすたっぷり! ピリ辛トマトソーススパゲティ」は890円。ほんとにピリ辛! ベースはアラビアータだったのね~ということで、しらすが入って2度おいしい。小皿料理も充実しています。このお店、一番高いメニューでも1300円しないのがステキ。

今年に入ってからのオープンなので、当面は無休で営業するそうです。ランチには500円パスタがおすすめです。+150円でドリンクセット、+300円だとドリンクにサラダとアイスクリームがついてきます。土日ならランチにもピッツァ食べられます!

立川市柴崎町2-2-21 TEL 042-595-9071
営業時間 11:30~16:00 (L.O.は15:00)
17:00~24:00 (L.O.は23:00)





ここから見える富士山

②

富士壮観

立川で一番高い所（曙町）

120年もの長きに渡って中央線を支えて来た多摩川鉄橋。上りの橋脚は今も建設当時の日野煉瓦が支えている。ひと際高く聳える八王子駅南口のタワーマンション。立川を発った中央線は、そこを経由して高尾へ向かう。山間にチラッと金色に見えるのが高尾みころも靈堂だ。